北九州市響灘地区における洋上風力発電事業に関する工事実施のお知らせ

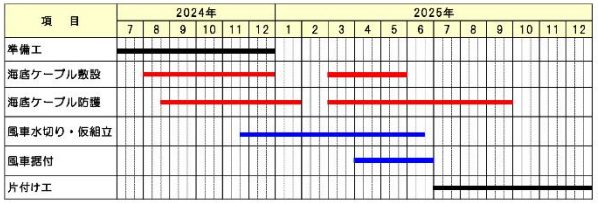
次のとおり、北九州市響灘地区において洋上風力発電事業に関する工事を実施します。
付近を航行する船舶は十分な注意と工事へのご協力をお願いいたします。

◆◆◆　お問い合わせ先　◆◆◆
(発注者)ひびきウインドエナジー株式会社　TEL 093－981－4362
(支援室)西部海難防止協会　ひびき支援業務室　TEL 093－863－9013
(施工者)五洋・日鉄エンジニアリングJV　TEL 093－752－2611

1.　工　事　期　間

海底ケーブル・風車据付工事：2024年8月初旬～2025年12月下旬
工事期間全体　　：2022年12月～2026年3月

○海底ケーブル、風車据付工事



○全体工程

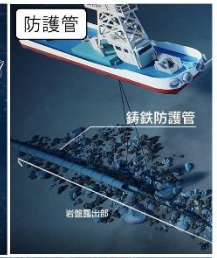
※作業時間は日の出から日没までとします。ただし、ROV 埋設(海底ケーブル防護)およびSEP船を使用する作業は 24 時間作業とします。
※実際の工事進捗によって、工事予定は変更になる場合があります。

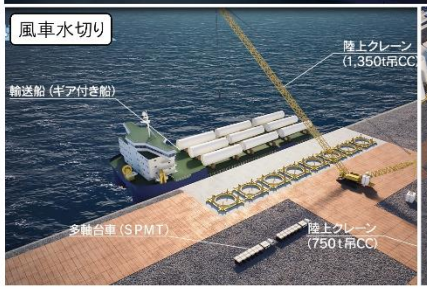
2.　工　事　概　要

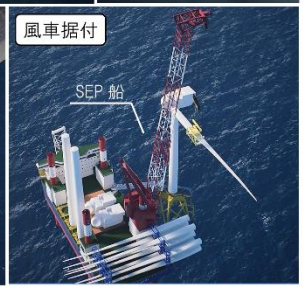
響灘洋上WFは港湾法に基づく港湾区域内での洋上風力発電プロジェクトであり、北九州港港湾区域内の約 2,700ha に定格出力 9.6MW の風車を 25 基設置します。

海底ケーブル工では、フィッシャリーナ内の旧取水口から陸揚げし、各風車に向け 4 系統に分けて海底ケーブルを敷設します(総延長約 60km)。基本的に ROV により埋設し、目標埋設深度に達しない場合はロックバッグにより防護します。また岩盤部で埋設できない箇所は、鋳鉄防護管によりケーブルを防護します。

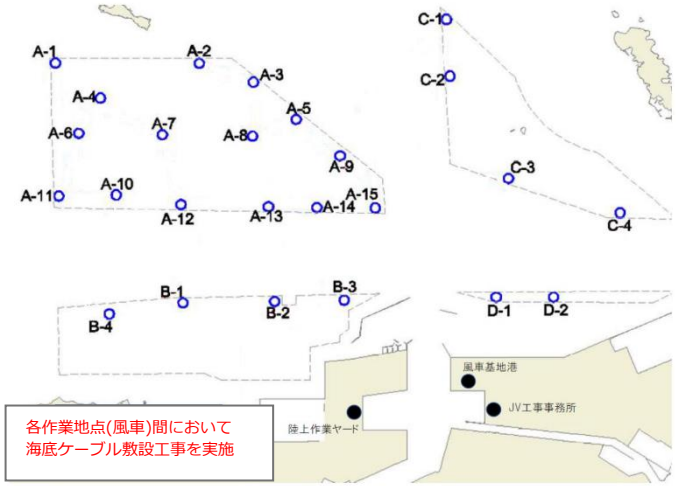
風車工では、海外から運ばれてきた風車部材をギア付船もしくは陸上クレーンを使用して水切りし、岸壁背後のヤードに仮置きします。その後、大型クレーンにてタワーの仮組立、SEP 船にて風車部材の積み込みを行い、沖合にてタワー・ナセル・ブレードの順番に組み立てます。







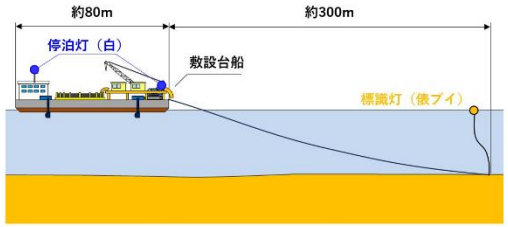
3.　工　事　場　所(北九州市響灘地区)



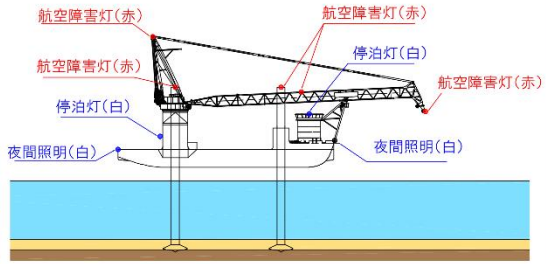
工事位置座標

作業地点	緯度・経度	作業地点	緯度・経度
A-1	33°59'42.0" 130°41'57.7"	A-14	33°58'15.6" 130°45'03.5"
A-2	33°59'42.0" 130°43'39.8"	A-15	33°58'15.5" 130°45'44.9"
A-3	33°59'30.9" 130°44'18.2"	B-1	33°57'18.3" 130°43'28.6"
A-4	33°59'21.0" 130°42'29.6"	B-2	33°57'19.2" 130°44'33.6"
A-5	33°59'08.4" 130°44'48.7"	B-3	33°57'20.1" 130°45'23.0"
A-6	33°58'59.8" 130°42'14.4"	B-4	33°57'11.4" 130°42'36.4"
A-7	33°58'59.1" 130°43'13.7"	C-1	34°00'08.7" 130°46'35.1"
A-8	33°58'58.4" 130°44'17.7"	C-2	33°59'34.7" 130°46'37.6"
A-9	33°58'46.6" 130°45'19.8"	C-3	33°58'33.3" 130°47'19.3"
A-10	33°58'23.0" 130°42'41.1"	C-4	33°58'12.9" 130°48'38.5"
A-11	33°58'22.1" 130°42'00.4"	D-1	33°57'22.1" 130°47'10.8"
A-12	33°58'17.3" 130°43'27.1"	D-2	33°57'22.2" 130°47'51.5"
A-13	33°58'16.1" 130°44'29.1"		

4.　法定灯火及び航空障害灯配置図



海底ケーブル工事　夜間停泊状況
(ケーブル敷設船：開洋)



風車据付工事　夜間停泊状況
(SEP 船：CP-16001)

5.　工事期間中の安全対策

(1)　ケーブル敷設船夜間停泊時は、アンカー位置に標識灯を取り付け、明示するとともに法定灯火を設置します。
(2)　SEP船夜間停泊中は、法定灯火ならびに船舶四隅(レグ・クレーンブーム先端等)に航空障害灯を設置し、航行船舶から視認できる照度を確保します。
(3)　作業中は警戒の標識(緑・黄・緑の吹き流し)を掲げた警戒船を工事区域の周辺に1隻以上配備します。
(4)　事前に関係各所と行き会い調整を行い、また、響泊地へ入域する際は、誘導船の誘導に従い入域します。

6.　航行船舶へのお願い

(1)　工事区域付近を航行される場合は、操船に影響のない範囲で速力を減速するとともに、できる限り作業用船舶から離れて航行してくださるよう、ご協力をお願いいたします。
(2)　夜間に工事区域付近を航行される場合は、十分に注意して航行くださるようお願いいたします。